

# イネの節水栽培へ向けてほ場準備しましょう

## 節水栽培とは

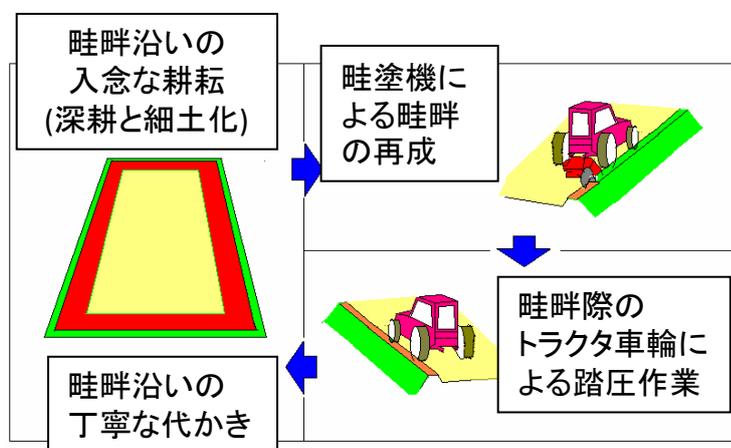
イネが各生育段階で必要とする水の量に応じて使用する用水を最低必要量に抑える方法です

- 令和5年の台風7号被害により、十分な水が確保しにくくなる可能性があります。
- イネづくりへ向けて必要以上の入水をしなくてよいように、ほ場の準備を行いましょう。
- 水系毎で入水する順番を決めるなど、協力しながら節水栽培に取り組みましょう。

## 水田の準備

- まずは畦畔に亀裂や穴がないか、用排水路や水口に損傷がないか点検しましょう。
- 均平にすることで必要以上の入水を避けられます。高い場所から低い場所に土を移動して均しましょう。
- 畦畔付近からの漏水を防ぐため、畦塗りや畦シートの設置、畦際の入念な耕耘(深耕と細土化)を行いましょう。畦際をトラクター車輪で踏圧するのも漏水対策になります。

### 【畦畔からの漏水を防ぐポイント】



## 代かきは浅水で行いましょう

- 代かきまでにゆっくり水をため、しっかり土を湿らせておきましょう。
- 代かきの際は、水の入れすぎに注意しましょう。土が8割、水が2割見える状態が入水量の目安です。
- 代かき水を少なくすることで、雑草や稲わらをしっかり土中へすき込むことができ、除草効果が高まります。
- 代かきは丁寧にいきましょう。特に畦際の外周を入念に代かきすることで水持ちを向上させることができます。



代かき前は**土が8割見える状態**とし、必要に応じて足し水しましょう

田植えまでの水管理は、ほ場の水持ちを考慮して必要最小限にとどめましょう。

お問合せ先：三朝町農林課 ☎0858-43-3515